

1



ナレーション：みんな、地震や津波って知ってる？

地震が起きたら津波がくることがあるんだよ。

そして、たくさんの人が死んじゃうこともあるんだよ。

2



ナレーション：みんなが生まれる、ずーっと前の平成7年1月17日に、みんなが住んでいる西宮にも『阪神・淡路大震災』  
という大きな地震が起きたんだよ。家や高速道路も倒れてしまい、たくさんの人が死んじゃったの。

3



ナレーション：大きな地震が起きたら、海から大きな波、津波が来ることもあるんだよ。

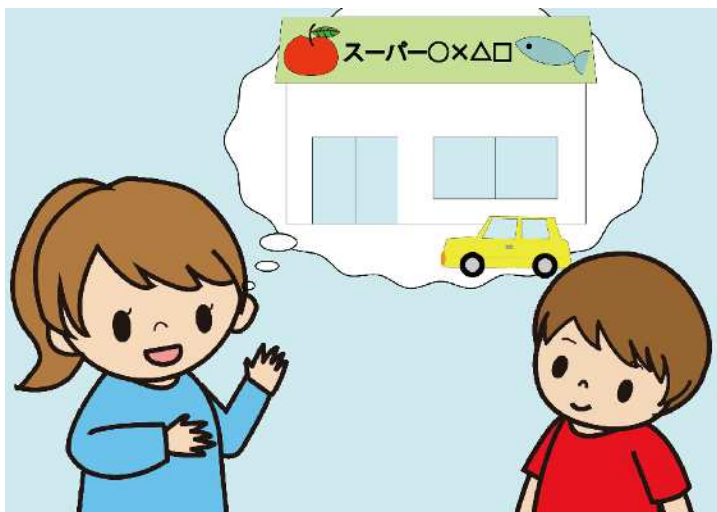
平成23年に東日本大震災という大きな地震があつてね、その地震が起きたあと、すごく大きな津波が来て、おうちや学校、幼稚園、そして、たくさんの人が津波にのみ込まれて、死んでしまったの。

これから先、西宮にも南海地震という大きな地震がくるかもしれないって言われているの。

そしたら、津波も来るかもしれないんだよ。今日は、もし地震が起きたらどうしたらいいか、

もし津波が来たらどうしたらいいかをみんなで一緒に考えてみようね。

4



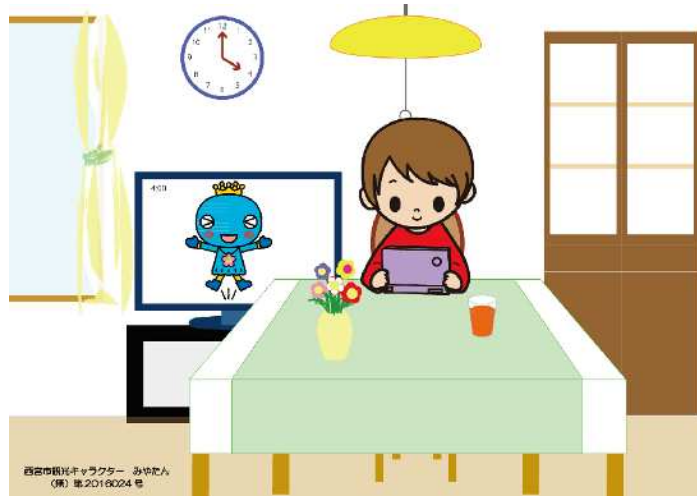
ナレーション：ある日、しょう君は、学校から帰ってきて、家でお母さんと2人でいました。

お母さん：しょう君、ママ、お買い物に行ってくるけど、1人でお留守番できる？

しょう君：うん、大丈夫だよ。いってらっしゃい。

お母さん：はい、それじゃ、行ってきまーす

5



しょう君：ママが、買い物に行ったから、ゲームをして遊んでよ。

ママがいたら、やり過ぎて言われてうるさいもんね。

⑥



ナレーション：ガタガタガタガタ・・・(地震の揺れの音)

突然、家が揺れ始めました。

しょう君：あれ？なんか揺れている気がするなあ。蛍光灯のヒモも揺れてるし、食器もカチャカチャ音がしてる。

なんだろう・・・??

ナレーション：次の瞬間、大きな地震が来ました。ガタガタガタガタ！！

7



ナレーション：家が大きく揺れ始めました。

しょう君：わー地震だ！！そうだ、テーブルの下にもぐらなきゃ。すごく揺れていて、こわいよおー。

食器棚まで倒れてきた。僕のゲームの上に食器が落ちてきてる！！

でも、今ここから出たらあかんよね。

ナレーション：地震は、1分以上続きましたが、やっと揺れがおさまりました。

8



ナレーション：部屋は信じられないくらい、いろいろなものが落ちていました。

しょう君は、割れた食器で足をけがしない様に気をつけながら、テーブルの下からでてきました。

しょう君：わー、食器棚が倒れて、食器が割れてる！

ジュースもこぼれてるし、テーブルの上にあった花瓶があんなところまで飛ばされてる！

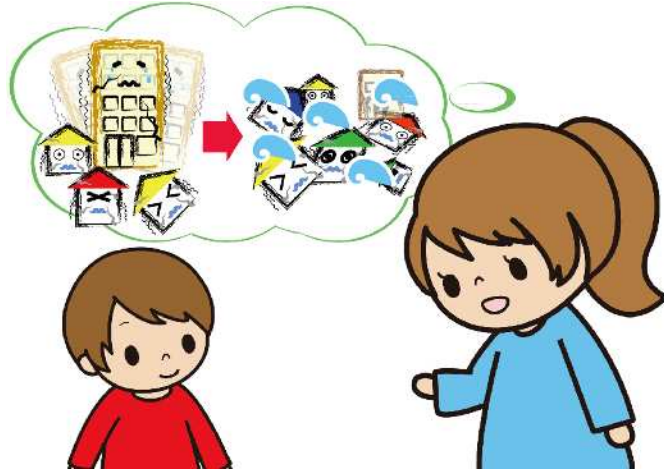
テーブルの下にいなかったら、食器棚の下敷きになってたかもしれない。よかったあー。

あれっ！外でみんなが走ってる！どうしたんだろう・・・

あ、テレビで津波も来るって言ってる！外でウーっとサイレンが鳴っている！



9



ナレーション：しょう君は、以前、お父さんとお母さんから聞いた『大きな揺れの地震が1分以上続いたら、海の近くでは津波が来るからね』の話を思い出しました。

しょう君：そういえば、前に、お母さんが、大きな地震が1分以上続いたら、津波が来るから、すぐに逃げなきゃいけないよ！って言ってたっけ。急いで逃げなきゃ！

10



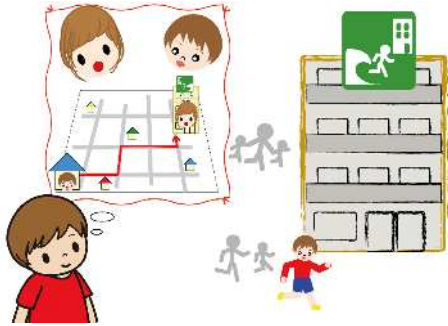
にげるときは  
なにも もたないでにげて！

しょう君：あ、そうだ！大事なおもちゃが、2階にあるんだ！取りに行かなきゃ。

でも、『逃げるときには、何も持たないで、すぐに逃げなさい』って、ママが言ってたっけ。

ナレーション：しょう君は、おもちゃを取りに行くのをやめて、割れた食器などでけがをしないように気をつけながら、外に出て、逃げることにしました。

11



ナレーション：しょう君が、外に出ると、お兄さんやお姉さんが、避難しているのが見えました。

津波が来るぞおー！と叫びながら逃げている人も見えました。途中で、お父さんやお母さんのことが心配になりました。もしかしたら、お母さんが家に帰ってくるかもしれないので、家に戻ろうかと思いました。

しょう君：どうすれば、いいんだろう・・・??あ、でもこの前、ママが何かあったら高いビル、津波避難ビルに逃げなさいって言って、逃げる津波避難ビルを覚えてくれたっけ。

大きな地震が来たときは、ママも津波避難ビルに逃げるから、僕も1人のときは、ママを探さずに1人で津波避難ビルに逃げなさいって言ってたっけ。

ナレーション：そして、しょう君は、前にお父さんとお母さんと避難する場所として決めていた、家の近くの『津波避難ビル』のマンションに向いました。

12



ナレーション：しょう君は、お父さんたちと決めていた『津波避難ビル』のマンションに到着すると、中の人が入口を開けてくれました。そして、階段で3階に上がろうとしたとき、小さな女の子が地震でビックリして、階段の横で泣きながら立っていたので、声を掛けてあげました。

ゆうちゃん：ママー、ママー（泣きながら）

しょう君：どうしたの。家は、どこなの？

ゆうちゃん：このマンションの3階なの・・・

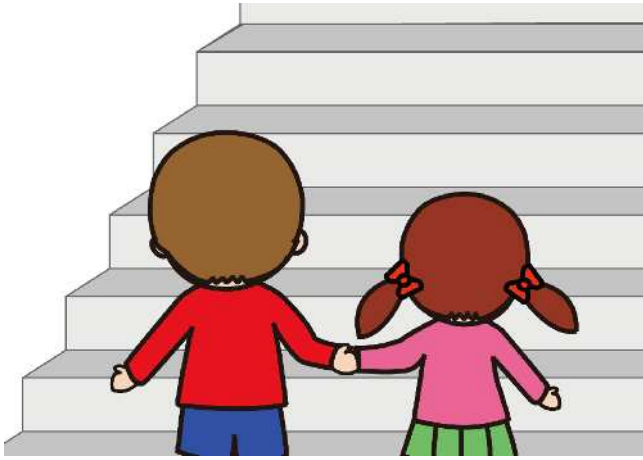
しょう君：名前はなんてゆうの？

ゆうちゃん：『ゆう』っていうの。

しょう君：『ゆうちゃん』、僕も3階に上がるんだ。だから、お兄ちゃんと一緒に上がろう。

ゆうちゃん：わかった。

13



ナレーション：しょう君は、ゆうちゃんと手を繋いで、階段で3階に向いました。

しょう君：がんばろう！きっと、お母さんが、まってるよ。

ゆうちゃん：うん。

14



ナレーション：3階に着くと、ゆうちゃんのお母さんがいました。

ゆうちゃんをみつけると走ってきて、ゆうちゃんを抱きしめました。

ゆうちゃんのお母さん：ゆう！！

ゆうちゃん：ママー

ゆうちゃんのお母さん：よかったー。心配してたのよ。無事でよかった。

ゆうを連れてきてくれて、ありがとうね。

ナレーション：ゆうちゃんのお母さんは、しょう君にお礼を言いました。

15



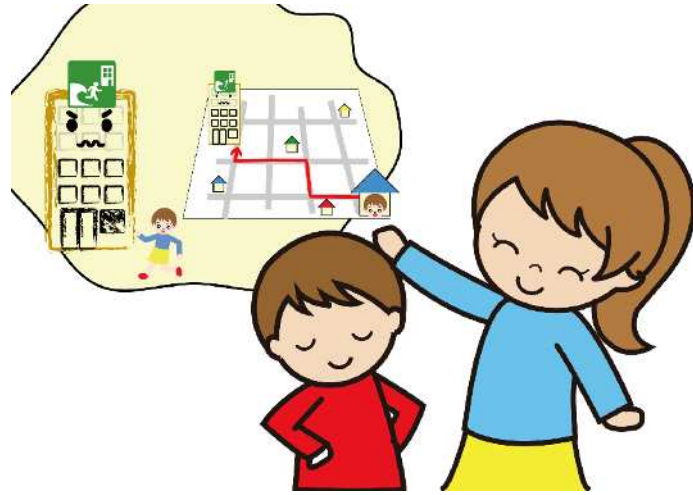
ナレーション：少しすると、しょう君のお母さんがマンションに避難して来ました。

しょう君を見つけると、お母さんは走ってきて、しょう君を抱きしめました。

しょう君：ママー

お母さん：しょう！よかった。絶対に、このマンションに来てくれていると思ってたわ。

16



ナレーション：しょう君は、逃げてくるまでの事をお母さんに話しました。

お母さん：えらかったね。ちゃんと1人で避難してくれてたんだね。前から避難場所を決めておいてよかったね。

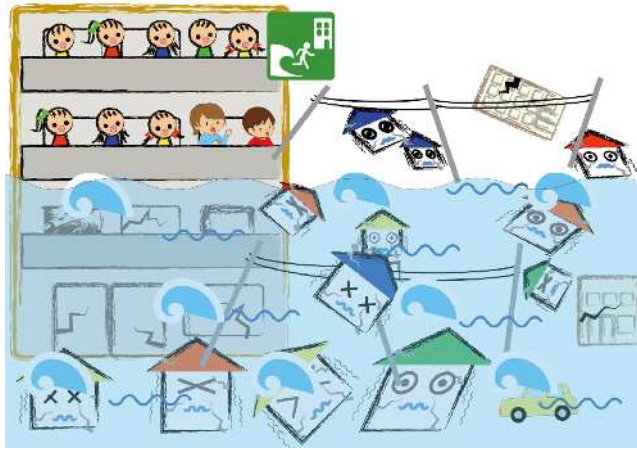
しょう君：ママとの約束を守って、おもちゃも持たずに、すぐに逃げてきたよ。

ナレーション：お母さんは、しょう君の頭をヨシヨシしました。

しょう君は、エッヘンと自慢げです



17



ナレーション：しばらくすると、津波が押し寄せてきて、マンションの1階・2階が津波に飲み込まれてしまいました。

家の屋根に避難している人が見えます。車や自転車などが流されています。

でも、しょう君たちは3階以上に避難していたので大丈夫でした。

しょう君：わあー。すぐ下まで津波が来てる！！3階まで逃げてきてよかったね。

お母さん：そうだね。津波はどれくらいの高さまで来るかわからないから、

できるだけ早く、少しでも高いところに逃げて、良かったね。



ナレーション：きょうのお話のおさらいです。今からお話する4つのことをしっかりと覚えておいてね。

まず1つ目、『地震の揺れから体を守ろう』

小さな揺れでも次に大きな揺れが来てダンスや食器棚が倒れてきたり、色々な物が落ちてきてケガをすることがあります。

小さな揺れの時でもすぐに机の下にもぐるか、机がなければ、ランドセルや座布団などで頭を守ってダンゴムシの体勢をとりましょう。

2つ目は、『大きな揺れが長く続いたら海の近くでは津波が来ます。すぐに逃げよう！』

大きな地震が来て、1分以上の揺れが続いたら大きな津波が来るので、すぐに津波避難ビルや高いところに逃げましょう。

その時は、何も持たずに逃げようね。

3つ目は、『津波避難ビルでは、**階段**で3階以上に逃げよう。』

避難するときは、必ず階段を使いましょう。絶対にエレベータは使ったらダメ。そして、3階以上に逃げましょう。

最後の4つ目は、『普段から、お父さん、お母さんと避難する場所を決めておこう。』

地震や津波は、いつくるかわかりません。もしかしたら、ひとりのときに地震が起きるかもしれません。

そのときは、お父さんやお母さんを待たずに、決めていた津波避難ビルに1人で避難しましょう。

あとから、お父さんやお母さんが来てくれるからね。

この4つのことをしっかりと覚えておいてね。

おしまい。